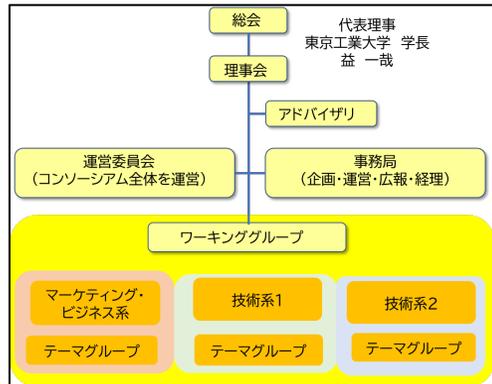


EPFC
(一社)エッジプラットフォームコンソーシアム
Edge Platform Consortium
IoTプラットフォームの定義・構築を目指す
ニーズとシーズが協働するコンソーシアム



SIP 戦略的イノベーション創造プログラム
 Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

内閣府SIP国プロ「フィジカル空間デジタルデータ処理基盤」

エッジコンソーシアム(仮称)

| 運営 | |
|---|--|
| 理事長 | 理事、アドバイザー |
| 運営委員会 | サービス部門： ・拡張ストア管理 ・IP維持・メンテ ・事例集/カタログ登録 ・関連情報収集・展開 ・講習会開催 ・サービス事業実行 |
| 事務局 | ・対外窓口 ・契約・広報 ・コンプライアンス |
| 法人運営環境： ・規約類：-運営規定 -システム運用ルール -運用ルール -カテゴリー類 ・事業運営： ・部会運営 | |

①コア技術
 ②部会
 事業項目
 新規サービス データ連携 機能連携 保守サービス
 リソース管理 グローバル連携 外部法人連携 ...

エッジコンソーシアムを通じた社会実装の拡大と持続 (SIP終了後 FY23~)

製造業 ヘルスケア 農業 畜産業 リテール ...
 協力企業社会実装 (SIP実施期間 ~ FY22) My-IoTコンソーシアム
 SIP事業者内社会実装
 サブテーマI エッジPF
 サブテーマII サブテーマIII
 他コンソーシアム/団体との連携：LF-Edge, IVI, RRI, SIoT, MCPCなど

**SIPフィジカル成果(IPなどの資産)+エッジPF(My-IoT+MSM+SRF)
 ⇒ コンソーシアムによる普及体制構築**

基本方針

- 1) SIPフィジカル開発技術 (My-IoT PFとMSM-PF) をコア技術
- 2) 自立収益モデル：一般社団法人、会費がメイン、各部会は事業費
- 3) コア技術であるエッジPF(My-IoT、MSM-PF)がオープンで使用可能

会員区分
 一般会員 (資本金5億以上) : 200,000円/年
 一般会員 (資本金5億円未満) : 40,000円/年
 個人会員 : 10,000円/年, 賛助会員 : 無料
 部会参加費用 : 200,000円/年
 WG活動部会 : 10,000円/人

新EPFCの概要と部会活動

コア技術と部会による事業

① コア技術



IoTストア/アプリ

My-IoT & SRF

エッジ・プラットフォーム

MSM

先端デバイス、既存センサー

② 部会による事業

My-IoT事業
開発推進部会

サブテーマ I (九大/NEC)
My-IoT開発プラットフォームの構築

ソリューション開発企業

MSM-PF事業
開発推進部会

サブテーマ II MSM-PF開発(DSPC)
製品化、販売展開サポートとPF整備

MSM端末開発・製造・販売企業
(A社、B社、C社、D社……)

CPS事業推進
普及部会

サブテーマ II (東芝)
高感度センサ開発と整備

センサ開発・製造・販売企業(単体/モジュール)
(E社、F社……)

エッジ・ソリューション
推進普及部会

サブテーマ III (立命館大学)
センサリッチ柔軟エンドエフェクタシステムの開発

- 各事業者間の連携を継続
- SIPフィジカル成果の社会実装
- エッジプラットフォーム普及促進
- 国際組織との連携と標準化
- 新規事業創出と新市場形成
- ビジネスチャンスの拡大

エッジ・ソリューションをエンドユーザーに普及する活動
 エンドユーザー企業へのエコシステムの社会実装
 (中小企業・製造現場……)